

家庭科から考える私達の消費行動

東京家政学院大学 家政学部家政学科卒業 長沼有希

大学・院を通し、家庭科における金融教育というテーマで研究をしました。はじめ指導教諭の上村先生(家政学部教授)に家庭科をテーマにしたいと話すと、金融教育を絡めたら?といわれ反発しました。金融という言葉に苦手意識があり、社会科学で言えば良いのではないかと感じていたからです。その矢先、小さな子が五百円玉を持ってパン屋さんに行きに来ているのを目にしました。限られた予算の中で、自分の分だけではなく家族の分も買おうとしている姿を通して、「金融教育」という投資等のお金儲けのための教育というイメージがあるが、自分のことだけではなく他者のことも考えられる、私達日々の暮らしがより豊かに楽し



小学校家庭科の授業にて

くなるように考える時に助けとなる、生活に密着した教育ではないかと考えるようになりました。

現在、財団法人消費者教育支援センターで研究員補として働きながら、横浜市にある私立小学校で家庭科を教えています。仕事を通して、様々な方に出会います。その中で普通の生活に教材はいくつもあるということ、また具体例を使って授業をしていくことの大切さを再確認しています。小学校で授業を行うときは、仕事を通して感じたこと以外にも、学生時代に受けた授業、学友会、海外研修、国民生活センターや高校での非常勤講師等の経験も役立てられるように心がけています。

子ども達によりよい消費行動を行うことができる知識と、情報を収集する術を教えると共に、その中で人とのつながりの大切さも教えていきたいと思えます。その事を学べるのが家庭科の強みだと改めて感じています。

プロフィール

東京家政学院大学家政学部家政学科卒業、同大学院人間生活学研究科修士課程修了(2009年3月) 現在、小学校教員、財団法人消費者教育支援センター勤務

研究室紹介 37

東京家政学院大学 小口悦子 研究室

第2調理学研究室では、調理過程で起きる様々な諸現象をもとに、おいしさを目標に食材の新たな利用法や調理操作法の検討を行っています。学生は、1~3年までに調理学、食品学、栄養学などの基礎を学び、応用として食品の開発を視野に入れた多くの実験・実習を行います。

私の研究室を希望する学生は、その中で「食」や「調理」に興味のある人が多く集まります。毎年、14~15名の卒研生がにぎやかに実習・実験をし、互いに協力しながら目標とするテーマに取り組みんでいます。この7年間で約100名の卒研生が様々なテーマに取り組みました。

食材の新しい利用法の検討については、豆腐、海藻類、蓮根、イモ類や野菜類を材料としたパンや麺、菓子やクリームなどを本来の食味以上に仕上げるための研究、調理法の検討では、電子レンジ醗酵パンの膨化量の改良に関する研究、シューやパイ、スポンジケーキの膨化のメカニズムに関する研究です。また、アマランサスを使ったアレルギー対応食の研究、こどもの偏食等を考慮したユ



H21年度卒研生とともに卒研発表終了会場にて

ニークな菓子や料理の考案も行いました。一方で、市販されている男性向けスイーツの特徴に関する研究など学生自ら課題を見つけ、興味深い結果を見出しています。環境問題に関心がある人は、家庭や生産過程・店舗等で廃棄される、まだ食べることのできる食品の利用の研究に取り組みんでいます。パンの耳では140種以上の料理の考案をしました。最近では、地域や企業と連携し、より大きな視野に立って、種々の事情で廃棄される食材の問題に取り組みんでいます。

これら多岐にわたるテーマに取り組む中で、食材の持つ特性が食品に新しい食味や食感を与え、食材の利用の可能性がいかに大きいかを学んでいきます。イメージを形にできる力をつけて社会で活躍していきます。

学院だより



No.126

2010

4



吉田真澄ゼミの学生、情報処理学会で発表
筑波学院大学吉田真澄教授のゼミの学生、3人が3月に東京大学本郷キャンパスで開催された情報処理学会創立50周年記念全国大会で、日ごろの研究成果を発表しました。

左から発表者の内藤俊彦さん、周舒さん、大野正和さん



東京家政学院短期大学卒業式(平成22年3月18日挙行)

発行 学校法人 東京家政学院

〒102-8341 東京都千代田区三番町 22番地

Tel. 03-3262-2251 (代表) Fax. 03-3262-2174



町田キャンパス
〒194-0292 東京都町田市相原町 2600 番地
TEL : 042-782-9811 (代)

千代田三番町キャンパス
〒102-8341 東京都千代田区三番町 22 番地
TEL : 03-3262-2251 (代)

URL <http://www.kasei-gakuin.ac.jp/>



新学部第一期生 に限りない期待を



東京家政学院大学
学長 天野正子

ようこそ東京家政学院大学へ。新入生のみなさんの新しい門出を心からお祝い致します。この入学式がみなさんにとって新しいスタートであるように、本学にとっても記念すべき、新しい出発の節目になります。短大、人文学部、家政学部を統合・再編して、「現代生活学部」の一学部／五学科体制に生まれ変わるからです。みなさんは、その新しい学部の第一期生です。

本学は一九二三年、小さな家政研究所として出発しました。創立者は大江スミ先生です。折からの関東大震災で人びとの生活が根こそぎにされたのを目のあたりにし、困難な時代だからこそ、新しい生活を提案し創りだすことのできる女性を育てようとしたのです。

そのカギとなったのが、現実をしっかりとらえるための「知識」(Knowledge)、他者を思いやる「人間性」(Virtue)、課題に取り組み「技術」(Art)を兼ね備えた女性を育てること。本学ではこれをKVAスピリットと呼び、大切に引き継いできました。

身近な食の安全・安心への不安から広く地球環境の問題まで、人間らしい生活が脅かされている今こそ、本学はKVAスピリットに立ち戻り、人間らしい暮らしとは何かの視点から、現代的な生活課題にしっかりと対応できるプロフェッショナルを育てます。本学での四年間の学びを通して、みなさん一人ひとりが人間として大きく成長され、しっかりと足どり社会へと旅立っていかれるように、東京家政学院大学は全力でサポートし、応援していきます。青春という人生の貴重な一ページを開くみなさんの四年後に大きな希望を託して、さあ、新しい一歩を踏み出しましょう。



東京家政学院大学
学友会会長 熊野吾子

みなさん、こんにちは！そして、新入生の方々、ご入学おめでとうございます。今年の学友会会長に就任した熊野吾子です。

学友会とは、行事毎にイベントを企画・運営し、学校みんなで楽しんじゃおう！という会です。昨年は、七夕に流しそうめんをしたり、クリスマスにはイルミネーションや球技大会を実施しました。みなさんも私たちと一緒にイベントを盛り上げてみませんか？興味を持った方は、ぜひ一度見学に来てください。もしくは、私を見つけて声を掛けてください。

平成22年度学友会 役員挨拶

平成21年度卒業式大学・大学院

平成21年度の大学卒業式及び大学院修了式が、3月19日(金)に大江スミ記念ホールで挙行されました。

開式前には、小池澄男教授制作のビデオが放映され、学生生活を懐かしんでいました。

式では、天野正子学長から学位記が授与され、学長は告辞で、「終わりを新たな始まりへと旅立って行く若人へ」と題して、卒業式(Commencement)は学ぶことを「終えるセレモニー」ではなく、「始まりのセレモニー」であると語り、また「国内外に起こっている生活課題に関心を抱こう、自分自身の人間としての可能性を信じて人生に挑戦しつづけよう」と結ばれました。

来賓を代表して宗像伸子光塩会会長から祝辞が述べられました。

平成21年度大江賞

大江賞が次の方々に卒業式で授与されました。

東京家政学院大学	藤本 萌
家政学科	山下 由華
児童学科	宮本 愛
住居学科	山本 詩織
日本文化学科	豊 真理子
工芸文化学科	入澤 由佳
人間福祉学科	小尾 瑞貴
志田真由子	志田真由子
長谷川真矢	長谷川真矢



家政学部家政学科衣環境コースの卒業制作発表ファッションショーの様子

文化情報学科 秦 智美
国際交流 邵 美雪
学友会 戸井田綾香
バレーボール 一戸 美穂

久和野由香
奥田佳代子
渡邊 まい
相馬 えり

東京家政学院短期大学
生活科学専攻 渡邊 智世
食物栄養専攻 渡邊 利紗
食品バイオ専攻 宮本 千尋

平成21年度卒業研究発表会

大学では、平成21年度の卒業研究発表会が11月下旬と1月下旬から2月上旬にかけて、学科・専攻コース別に行われました。

研究テーマは、各学科・専攻コースの特色が出た興味深いものでした。家政学科・児童学科では、論文発表・質疑応答形式で行われ、衣環境コースでは、卒業研究発表会の後に、大江スミ記念ホールにて、「祝宴」と題した卒業制作発表ファッションショーが3部構成で華やかに開催されました。住居学科の発表会は、ポスター展示方式で発表が行われました。教室に模型・図面が展示され、学生のポスターセッションも行われ、特に模型は、細部にもこだわって制作された作品が印象的でした。また、

人文学部4学科においても、論文発表・質疑応答形式の発表会が行われ、工芸文化学科の学生は、自分が制作した作品を前に発表が行われました。

大学4年間で学んだ研究の集大成としての卒業研究発表会は、このように全学科で行われました。

卒業生を前面に 大学案内2011登場

ネット時代とはいえ、進学先を考える高校生にとってあるいは進路指導の先生方にとって大学案内は、大学の魅力・特徴を把握する上で欠くことのできない情報源です。

平成23年度入試は、現代生活学部が町田と千代田三番町の2キャンパスで活動を開始する初年度、従来にも増して早い時期からの高校訪問や最新の情報提供に重みをかけて、3月初旬、大学案内(ガイドブック2011)が完成しました。

表紙には「もっと、自分らしく。もっと、色が出た興味深いものでした。家政学科・児童学科では、論文発表・質疑応答形式で行われ、衣環境コースでは、卒業研究発表会の後に、大江スミ記念ホールにて、「祝宴」と題した卒業制作発表ファッションショーが3部構成で華やかに開催されました。住居学科の発表会は、ポスター展示方式で発表が行われました。教室に模型・図面が展示され、学生のポスターセッションも行われ、特に模型は、細部にもこだわって制作された作品が印象的でした。また、



日本文化学科卒業研究発表会の様子

平成22年度役員決定

(東京家政学院大学 学友会)

会長	熊野 吾子	3 KK
副会長	黒滝 万里加	3 KK
	倉田 奈緒美	2 GA
監査役	古川 綾美	2 GA
会計	室木 優花	2 GA
書記	山田 さゆり	2 GA

書記	吉田 伸江	2 NA
渉外	徳江 遥	2 NA
	原田 愛	2 NA

(クラブ連合会)

委員長	古川 あすか	3 PE
副委員長	鈴木 里沙	3 JA
会計	北島 絵梨	4 FK
書記	福田 弥生	3 NA
	池田 彩乃	2 AA
渉外	伊東 紀子	2 HA



大学案内2011巻頭特集の卒業生見開きページ



卒業制作展のパンフレット

〒305-0031 茨城県つくば市吾妻 3-1
TEL : 029-858-4811 (代表)
FAX : 029-858-7388
URL <http://www.tsukuba-g.ac.jp>



奈良講師と発表者の食科学コース3年生

平成21年12月22日、東京・すみだ産業会館サンライズホールにて社会人基礎力育成グランプリ2010の東日本予選大会が開催され、28大学がその活動内容を発表しました。本学は家政学部家政学専攻食科学コースの専門科目「食科学実験・実習II」での実践的な食品開発体験の成果を「うこっけいハムを用いた新商品開発プロジェクト」と題してまとめ直し、奈良一寛講師の指導の下、3年生6人のチームで初挑戦しました。連携企業からも全面的な支援を受け、食材の提供は大多摩ハム小林商會様に、また発表の準備などでは西武信用金庫様に大変お世話になりました。発表は説得力のあるよい内容でしたが、残念ながら予選通過はなりませんでしたが、しかし、初挑戦ながら奨励賞をいただくことができ、参加した学生たちは、一致団結してこのグランプリに挑戦したこと自体が自分たちの社会人基礎力を伸ばすことになったと強く感じたようで、今回のグランプリ参加は大成功でした。

家政学部食科学コース3年生
社会人基礎力育成グランプリ出場



姉妹校の中国吉林華橋外国語学院
から8名の編入生

東京家政学院大学と中華人民共和国の吉林華橋外国語学院(私立大学)は平成21年11月4日に大学間交流協定を締結しました。翌日には本学への3年次編入を希望する学生に対する試験を実施し8名が合格しました。8名の留学生は、4月から本学での留学生生活を始めます。

なお、昨年3月には中国の吉林工商学院(国立大学)とも大学間交流協定を締結し、交流についても交渉を継続しています。また、昨年末には韓国の釜山女子大学の東京研修が千代田三番町キャンパスで行われ、短大生との交流会も行われました。同大学とは3月4日に大学間交流協定を締結しました。

進歩への確信― 旅路を導く北斗星

筑波学院大学学長
三石善吉



新入生の皆さん、入学おめでとう。あなた方は、筑波学院大学の第6期生として入学されました。

本学の教職員一同、あなた方を心から歓迎します。

2009年度のノーベル平和賞は、オバマ大統領が受賞しました。受賞式での演説の中で大統領は、「人間の進歩に対する根源的な確信、それこそが常に私たちの旅路を導く北斗星であるべきでしょう」と言っています。この言葉をあなた方に贈ります。

ここでオバマ大統領は、私たち人間は、権力とかお金とか憎悪といった誘惑に負けがちな弱い存在ではあるけれども、平和なより理想的な世界を作り出すことが出来るという、進歩への根源的的確信をもった存在である、と言おうとしています。

私たちも、そして勿論新入生のあなた方も、これまでの自分を乗り越えて、新しい自分へと進歩していくことができます。そのためにまず第一に、新しい友達を積極的に作ってください。さまざまな友人との付き合いの中で、視野を広め自分を磨いてください。第二に、大学の授業は教養科目、専門の入門科目、専

短期大学卒業式

平成21年度卒業式が、3月18日(木)に千代田三番町校舎講堂において挙行されました。小池澄男人文学部教授の協力により作成された卒業記念のビデオ上映の後、富永芳枝先生の司会のもと、13時から式が行われました。天野学長は、卒業を「終わり」ではなく「新たな始まり」にするためのメッセージとして、自分自身のなかの可能性を信じて挑戦しつづけてほしいということ、道は一本だけではなく、遠回りのようにみえても最終的に目的地に辿りつけばよいということ、「こんにちば」「ありがとう」という挨拶一つが、世界中どこに行っても人とながら新しい世界を拓くうえで、大きな意味をもつということを、告辞として話されました。

今回の卒業生は、東京家政学院短期大学の最後の入学生であり、卒業生総代からは「惜別の辞」が述べられました。式終了後、クラス担任から卒業生全員にバラの花が手渡され「蛍の光」の流れる中、第59回生は卒業しました。

神田雪だるまコンテスト 「孀恋賞」受賞

第9回神田雪だるまコンテストにおいて、東京家政学院短期大学チームが、2年連続で特別賞である「孀恋賞」を受賞しました。今回は、本学から4チーム28名の学生が参加し、1月15日(金)に制作を行い、1月17日(日)に賞が発表されました。



雪だるま制作中の東京家政学院短期大学チーム

在学生による大学認定公式ブログ 「KVA通信」オープン!

学生主体のブログサイト「KVA通信」が今年2月にオープンしました。在学生の視点から、学業やキャンパスライフ、イベント情報などを発信していきますので、是非ご覧下さい。

<http://kvablog.net/>

平成21年度大江賞受賞者について

平成21年度の大江賞受賞者は次の2名に決まりました。
情報メディア学科 前島 智美
国際交流学科 高橋 麻美

両名とも学業成績も優秀で、前島さんはKVA祭実行委員会副委員長や卒業アルバム作成委員、高橋さんは卒業祝賀パーティ実行委員、卒業アルバム作成委員に携わり、大学への貢献度も高い学生です。大学生活で得た経験を元に、卒業後もさらなる活躍を期待したいと思います。

学友会役員

会長 時沢 秀美
 副会長 榎田 ひかる、藤井 美由紀
 会計 佐久間 典子、吉田 真由美
 書記 見崎 奏恵、金子 美紀
 広報 和田 美樹
 青谷 美希、米本 京介
 鈴木 友希、黒尾 芽依
 清水 亮太、小松原 駿
 株木 良平、麥 乃文、石井 亨
 稲箸 美穂

海外短期研修

毎年行っている海外語学研修は、2月6日から2月27日の3週間にわたり、オーストラリア・PerthにあるEdith Cowan（エディス・コーワン）大学付属の語学学校で行われました。この大学は情報・法律・経済および語学教育が盛んで、世界から沢山の学生が集まり、学んでいます。現地に到着後、緊張する中、ホストファミリーと対面し、研修が開始しました。気候は40℃に達することもあり、南半球にすることを認識させられました。3週間の現地生活は長くもあり、短くもあり、学生によっては様々な印象を持ったようです。英語漬けの生活を送ることに、英語的発想が出来る学生も日々出てきました。

後半、生活に慣れ、ホストファミリーとも堂々とコミュニケーションがとれるようになり、心細さなどみじんも感じられない

平成21年度卒業式

ほどとなりました。「もつと英語力を伸ばしたい」、「またオーストラリアに行きます」などの声があがったことは、プログラムが成功したこと証であるでしょう。

ロボカップジュニア大会 運営に参加

山島一浩准教授が関東ブロック長と日本委員会の実行委員を務めるロボカップジュニア茨城大会と関東大会が2010年3月、筑波学院大学で開催されました。この大会は、将来のロボット技術者を目指す小中高生が参加する自律型ロボットの競技大会で、サッカー、レスキュー、ダンスの競技があります。

出場選手は、シンガポールで開催される世界大会を目指して白熱した競技を繰り広げました。本学の学生は、事前の技術指導や大会準備、運営に参加し、会の成功を支援しています。



大会の様子

News

筑波学院大学のホームページが4月からリニューアルしました。是非ご覧ください。
<http://www.tsukuba-g.ac.jp/>



卒業式にて三石学長から学位記が手渡される

平成21年度の卒業式が3月12日（金）に本学大教室で挙行されました。筑波学院大学となり2期目の卒業生です。
 三石学長は、厳しい社会に巣立っていく卒業生に、「伝統の新たな形成をすること、地道に着実に忍耐を重ねて前進していくこと、精神的な貴族になり、自分の上に多くを要求し、自分の上に困難と義務を背負いこむ人になり自分の特性を磨くこと」の3つの心得を「心の中の北斗星」として持ち、これからの社会人としての生活をしっかりと送ってほしいと祝辞を述べました。続いて、山口理事長、宗像光塩会会長から祝辞が述べられました。
 なお、学業優秀者に授与される大江賞は、前島智美さん（情報メディア学科）と、高橋麻美さん（国際交流学科）が受賞しました。

TIC合同企業説明会

平成21年12月7日（月）に、本学内においてつくばインターンシップコンソーシアム（TIC）と共催で「合同企業説明会」が実施されました。22の企業が出展し、他大学も含め100名以上の学生が参加しました。

参加した学生たちは、一様に各ブースでリクレーターの説明を熱心に聞いていた様子でした。就職氷河期の再来という昨今の事情の中、企業説明会の予約さえ取れないという声を耳にしましたが、今回の合同説明会はマンツーマンに近い形で人事担当者と話が出来たと、参加した学生からは好評でした。



企業説明会の様子

吉田真澄ゼミの学生 情報処理学会で発表

本年度も、吉田真澄教授のゼミの学生、3人が3月9日から11日東京大学本郷キャンパスで開催された情報処理学会創立50周年記念全国大会で、日ごろの研究成果を発表しました。「線画像の表現」（発表者大野正和さん）、「顔画像の特徴点による個人の識別方式（発表者周舒さん）」の2件です。

発表者はいずれも3年生で、共同研究者の4年生の内藤俊彦さんの研究を引き継ぎ、大野さんは手書きした簡易図形からDB内の建物や風景写真などを自動検索する、周さんは人工知能技術のフuzzy推論を用いて顔写真の人物名を推論する基礎技術を開発しました。内藤さんはこの研究をきっかけに茨城大学の大学院への進学を決めています。発表者二人も、この成果をもとに大学院への進学を目指して、精力的な研究を進めています。

OCPスタッフ活動報告



平成22年2月21日にOCP学生スタッフが筑波大学人間学群「人間フィールドワーク」の授業で活動報告を行い、筑波大学生と一緒にワークショップに参加してきました。この授業は筑波大学人間学群のコア科目に位置付けられ、受講者に社会参加活動を体験させ、その活動を振り返らせることで大学で学ぶことの意義を理解させることを目的としたものです。

今年度の授業を締めくくるにあたり、学生の社会参加活動に力を入れている本学のOCPの取組みの紹介、学生の活動報告、学生の社会参加について考えるワークショップを合同で行うことで、学生スタッフは筑波大

生とともに自分たちの活動を振り返る良い機会となりました。これをきっかけに、今後も筑波大学を始めとした他大学との大学間の協力、さらには、つくば市における大学生の社会参加活動を一層充実する機会を作りたいと考えています。

子どものための

日本語指導者養成講座実施

文化庁から委託を受け、日本語指導者養成事業の一環として、2月24、25日の両日、「子どものための日本語指導者養成」講座を実施しました。
 本学の日本語教育の専門家である金久保紀子准教授と亀田千里講師が、地域で長く子ども達に日本語を教えている吉田麻子氏や筑波大学の西村よしみ教授とともに、4つのテーマで講座を行いました。

どのテーマにも多くの受講生が集まり、教室がいっぱいになりました。実際に子ども達に日本語を教えている方々、今から教えようと考えている方など、受講生の立場はそれぞれでしたが、ディスカッションも交え、実りの多い講座となりました。



熱心に取り組む受講者のみなさん

保護者会開催

筑波学院大学では、2月13日（土）に第7回保護者会を実施しました。1～3年生の保護者を対象に、全体会での学長挨拶、就職委員長の就職に関するお願いと現状の話、外部よりProfessional Recruiters Cub代表の鈴木美伸氏を招いての就職講演があり、その後担任との個別面談に移りました。鈴木氏の講演は元人事担当者として採用する側の目線でどんな人材が求められているかなどわかりやすく講義されており、保護者にも大変好評でした。なかなか見えにくい大学での様子を聞くことが

できるなど、保護者会に対する要望も多く、今後もより充実した保護者会を実施していく予定です。



中川ゼミの卒業制作展をつくばクレオスクエアで開催

2月15日から28日まで中川麻子講師のゼミが卒業制作展を外部会場のつくばクレオスクエアで開催しました。

会場には本の装丁、編集、パッケージ、マンガ研究、印刷実験、web制作、映像作品など、多彩な19人の作品が並びました。卒業生、近隣の学生をはじめ、お買い物帰りや親子連れの方など多くの方が足を止めて展示を見てくださり、たくさんのご意見を寄せてくださいました。また会場では制作した学生が作品説明にもあたり、一般の方のアドバイスを直接伺う貴重な経験となりました。

展示の様子はデザインゼミブログ「ツクバガクインデザイン」<http://design-iroiro.jugem.jp/>でもご覧頂けます。



会場の様子



〒102-8341
 東京都千代田区三番町22番地
 TEL.03-3262-2255 (中学)
 TEL.03-3262-2256 (高校)
 URL <http://www.kasei-gakuin.ac.jp/chuko/>
 E-mail:koho@chuko.kasei-gakuin.ac.jp

新入生の皆様へ

東京家政学院 高等学校 校長

吉田義昭

中学校、高等学校の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。新しい制服の着心地はどうでしたか。初めてその制服を着た時、これからの新しい学校生活について期待を抱いたことと思います。新しい制服、校章、カバンに接した時の気持ちをいつまでも忘れないでいてください。そして、ご父母



の皆様には、お子様のご入学を心よりお祝い申しあげます。在校生そして教職員

一同、皆さんの入学を心待ちにしております。本校の学校生活は「ごきげんよう」の明るい元気な声で始まります。私もこの「ごきげんよう」という言葉でみなさまをお迎えしたいと思っております。この「ごきげんよう」は創立者大江スミ先生の好きな挨拶の言葉でした。創立以来、本校の挨拶は「ごきげんよう」です。皆さんも是非、どなたに対しても、自然に「ごきげんよう」と言えるようになってください。創立者の大江スミ先生の教えについては、入学後に学んで貰うことになりま

す。大江先生は我が国で初めて「家政学」を学問とされた先生です。その先生が自分の理想とする教育を実践されるために創立されたのが本校なのです。知識・学問の深い人、品性の高い人、諸技能を身につけた人、そのような女性に育てたいと考え、三つの教育目標とし、本校の建学の精神としました。その創立時の建学の精神がKVA精神と呼ばれ、今でも本校の教育方針として受け継がれているのです。

東京家政学院中学・高等学校は卒業生と在校生と一緒に校風を作っている学校です。大江スミ先生は社会で活躍する自立した女性を育てたいと本校を創立したのです。そして大江スミ先生自身が、まさに、明治、大正、昭和の時代に、社会で活躍した自立した女性のひとりでした。学校は小さな社会でもあります。自立した女性として社会で活躍するためにも、この学校で、将来の自分のためにたくさん

学んでください。私たち教職員一同みなさんを守り、応援しますから。そしてどうか、楽しい充実した学校生活を送るためにもみなさん自身が努力してください。みなさん自身が学校生活を楽しくしてください。入学にあたって、みなさんにたくさんのごことを期待し入学の挨拶とさせていただきます。

中学校生徒会長挨拶



中学生徒会長

渡邊梨帆

ごきげんよう。この度、中学生徒会長になりました渡邊梨帆です。私が会長になりたいと思っただ理由は、昨年一年間生徒会で活動してきて、一つ一つの行事がとても楽しくてやりがいがあり、貴重な経験がたくさんできたので、今年も会長という立場で学校をまとめ、みなさんが楽しく学校生活を送れるように明るい学校にしたいと思っただけで立候補しました。生徒会に入ったばかりの私は何一つ分からず不安でいっぱいでしたが、先輩方が優しく教えてくれたおかげで不安もなくなり、来年は自分達が教えていくのだと自覚もできました。そしてもっと人の役に立ちたいと思いました。いつも支えてくれるみなさんへの感謝を忘れず、少しでも長くみなさんが笑顔で学校生活を送れるように、楽しく明るく元気な学校をつくってまいります。

平成21年度卒業式

3月3日、東京家政学院高等学校の卒業式が本校講堂にて行われました。当日は寒さも和らぎ、すがすがしい生徒たちの気持ちをあらわしているようでした。答辞では、涙そうそうの「あなたの場所からわたしが見たらきつ」といつか会えると思いきや「きつ」という言葉が引用され、このフレーズをこれからも大切にして卒業していきま、という生徒のこぼれ思わず胸があつくりました。この「涙そうそう」は一年前の沖縄への修学旅行の際のオリエンテーションで、今日という素晴らしい一日を忘れないために、学生全員で歌った曲です。また、「家政学院で身につけた何事にも真摯に取り組む姿勢を忘れず、これからの女性の自立を模索していきたい」という言葉に頼もしさを感じました。自分たちのいる場所で、限られた時間の中で、精一杯、学生生活を謳歌し、お互いを助け、思いやりをもって過ごしてきた生徒たちを誇りに思います。

高校二年生修学旅行で沖縄へ

今冬、本州は記録的な降雪日の多さでした。そのような中、我々高二学年は初夏の風薫る沖縄へ3月11日から14日まで修学旅行へ行きました。この時期、沖縄は海に入れるくらい気温は上がっていて、長袖では暑いほどです。生徒達も沖縄についてしつかりと事前学習をし、「沖縄新聞」として発表を準備し、期待に胸を膨らませて出発しました。

旅行の行程は、まず、ひめゆり資料館・平和祈念公園で内地戦の壮絶さ・生徒達の思いなどを学ぶことから始まり、メインのタクシー研修では、各班三〜四人に分かれてタクシーを貸し切り、丸一日自分の計画したコースを見学しました。また、サトウキビ刈りなどの体験学習も行いました。もちろん、美ら海水族館や首里城などは外せません。学院生活最後の宿泊行事として、生徒達には生涯の思い出になったことと思

中学如月祭

2月25日四時間に中学役員選挙、五・六時間目に如月祭が行われました。役員選挙では、会長候補、副会長候補それぞれが演説を行いました。少し緊張気味でしたが、心強い応援演説もあって、今後の生徒会との関わり方など、どの候補者も具体的な考えをしっかりと述べていました。生徒会長に中二D渡邊梨帆さん、副会長に中一A鈴木あゆみさんが当選しました。後半の如月祭はレシーションコンテストや音楽部、POPS部、吹奏楽部の演奏や演劇部、バトンの演技で盛り上がり、最後は次期委員長から委員長へ花束贈呈のセレモニーで締めくくりました。また体育優良生中三A生島涼香さん、吹奏楽理事長賞中三C小泉早矢香さんが表彰されました。



如月祭



会長候補演説の様子

大江賞受賞者

大江賞が卒業式で授与されました。

○高校 鎌田瑞穂さん



修学旅行の最終日



ビーチでのマリンスポーツ

平成22年度生徒会役員決定

○中学生徒会長 渡邊 梨帆さん
 ○中学副生徒会長 鈴木あゆみさん
 ※高校の生徒会長は5月に決定します。

吹奏楽部定期演奏会

3月24日文京シビック大ホールにて中高吹奏楽部第17回定期演奏会が開催されました。溢れんばかりの観客に見守られながら、第一部では、コンクールで演奏されるような大曲に加え、本校音楽講師である姜先生によるマリンバがメインの曲も演奏されました。第二部は趣向を変え、最新のヒット曲や楽器を使っているデュエットなど、誰もが知っている曲が演奏され、観客席も盛り上がっていました。第三部では交響曲ローマの松が

演奏され、2時間半の熱演に会場からは割れんばかりの拍手が贈られました。生徒たちは夏のコンクールの終了後、この日のために毎日遅くまで練習をしていました。日頃の成果が発揮された素晴らしい演奏会でした。また、この日まで生徒を支えてくださった保護者の皆様に感謝いたします。今後ますますの活躍が期待されます。

平成22年度 東京家政学院中学校・高校共通イベント

キャンパスツアー ※全て10:00~開催 要予約 (施設案内・授業見学もできます)

1学期	2学期	入試直前 個別相談期間
5月29日(土)	7月24日(土)	12月1日(水) ~ 1月29日(土) (12月29日~1月4日を除きます)
5月30日(日)	7月25日(日)	
6月5日(土)	9月25日(土)	
6月13日(日)	9月26日(日)	
7月3日(土)	10月31日(日)	
7月10日(土)	11月13日(土)	
7月11日(日)	11月20日(土)	

学校行事

合唱祭	6月11日(金)
体育祭	9月8日(水)
文化祭	10月10日(日) 11日(月)

受験希望者は自由に参加できます

○東京家政学院中学校

1 入試説明会(受験生対象)

開催日	時間
5月22日(土)	14:00~
11月6日(土)	14:00~
12月4日(土)	10:00~ 14:00~
1月15日(土)	10:00~ 14:00~

2 学校説明会(小学生対象)

開催日	時間
6月27日(日)	10:00~
7月31日(土)	13:00~
9月5日(日)	10:00~
9月22日(水)	19:00~
10月20日(水)	10:00~

○東京家政学院高等学校

1 入試説明会(受験生対象)

開催日	時間
8月28日(土)	10:00~
10月16日(土)	14:00~
11月27日(土)	14:00~



○筑波学院大学

■オープンキャンパス日程

	開催日時	
第1回	4月25日(日) 10:30~	
第2回	5月16日(日) 10:30~	
第3回	6月20日(日) 10:30~	
第4回	7月11日(日) 10:30~	AO入試セミナー同時開催
第5回	8月1日(日) 10:30~	AO入試セミナー同時開催
第6回	8月22日(日) 10:30~	イベント形式
第7回	9月26日(日) 10:30~	
第8回	10月23日(土)・24日(日)	KVA祭同時開催
第9回	2月27日(日) 10:30~	
第10回	3月27日(日) 10:30~	

★(お問い合わせ先)
 ○東京家政学院大学
 〒194-0292 東京都町田市相原町2600
 入試広報課 TEL 042-782-9411
 ○筑波学院大学
 〒305-0031 茨城県つくば市吾妻3-1
 入試・広報課 TEL 029-858-4815
 ○東京家政学院中学・高等学校
 〒102-8341 東京都千代田区三番町22
 入試事務室 TEL 03-3262-2256

○東京家政学院大学

オープンキャンパス日程
【町田校舎】

開催日	曜日	時間	内容
5/9	日	10:00~16:00	大学紹介、体験授業、小論文対策講座、学科紹介、進学個別相談、キャンパスツアー、学科イベント、バスツアー等。 (内容は日程によって異なりますので、詳しくはHP等でご確認ください。)
6/20	日	10:00~16:00	
7/11	日	10:00~16:00	
7/25	日	10:00~16:00	
8/8	日	10:00~16:00	
8/29	日	10:00~16:00	
9/12	日	10:00~16:00	
11/13(KVA祭)	土	10:00~16:00	
11/14(KVA祭)	日	10:00~16:00	
2011.3/27	日	10:00~16:00	

【千代田三番町校舎】

ミニオープンキャンパス日程

開催日	曜日	時間	内容
5/9	日	10:00~16:00	会場:併設高校
6/20	日	10:00~16:00	大学紹介、学科紹介展示、進学個別相談、小論文対策講座
8/1	日	10:00~16:00	
2011.3/27	日	10:00~16:00	

オープンキャンパス日程

開催日	曜日	時間	会場
7/18	日	10:00~16:00	会場:アルカディア市ヶ谷
8/7	土	10:00~16:00	



H23年度完成予定 千代田三番町校舎
エントランスイメージ図

東京家政学院大学の2学科(現代家政学
科・健康栄養学科)が平成23年度中に千代
田三番町キャンパスへの移転を予定してい

平成23年度中に
2学科がキャンパス移転予定



Knowledge
Virtue
Art

知識を高める
徳性を養う
技術を磨く

学校法人 東京家政学院

学校法人東京家政学院
〒102-8341
東京都千代田区三番町22番地
(代表電話番号) 03-3262-2251

URL <http://www.kasei-gakuin.ac.jp/houjin/>

新任紹介

4月から各大学・学校に入った新任の教員を
ご紹介いたします。

①松田正己(まつだまさみ) ②内田敬子(うちだけいこ)
東京家政学院大学准教授 東京家政学院大学准教授
公衆衛生学他担当 解剖生理学他担当



③後藤範子(ごとうのりこ) ④高嶋啓(たかしまけい)
東京家政学院大学准教授 筑波学院大学講師
保育学他担当 アニメーション他担当



⑤茶屋靖朗(ちややすあき) ⑥服部有希(はっとりゆき)
東京家政学院中学・高等 東京家政学院中学・高等
学校教諭 数学科担当 学校教諭 国語科担当



⑦中里恵理子(なかにしりこ)
東京家政学院中学・高等
学校教諭 社会科担当

東京家政学院短期大学 60周年を祝う会
(—光塩会懇親会・ジョイント同期会—)

日時:平成22年6月13日(日)

受付 11:30 開式 12:00

会場:ホテルメトロポリタンエドモント

2階 悠久の間

形式:正餐(会費制)

会費:1万円

なお、バリトンのオペラ歌手 崔宗宝(さいそうほう)さんの独唱が予定されております。
※例年通り光塩会懇親会とジョイント同期会が行われま
すので短大卒業生以外の方も是非ご出席ください。

お問合せ先
法人事務局総務課 TEL 03-3262-2259
E-mail soumu@san.kasei-gakuin.ac.jp
東京家政学院光塩会 TEL 03-3265-3646
E-mail kouenkai@kasei-gakuin.ac.jp

ホテルメトロポリタンエドモント
03-3237-1111
〒102-8130 東京都千代田区飯田橋3-10-8



- 交通
- ・JR飯田橋駅東口より徒歩約5分
 - ・JR水道橋駅西口より徒歩約5分
 - ・地下鉄有楽町線・南北線飯田橋駅A-2出口より徒歩約5分
 - ・地下鉄東西線 飯田橋駅A-5出口より徒歩約2分
 - ・地下鉄大江戸線飯田橋出口より徒歩約7分
 - ・東京駅丸の内口よりタクシーで約15分
 - ・羽田空港よりタクシーで約40分

大江文庫資料紹介 37

創業者大江スミ先生の著作 「家事実習教科書」

東京家政学院大学附属図書館

学院の創業者大江スミ先生の最初の著作
「家事実習教科書」は、今からちょうど百
年前に当たる一九一〇年(明治43)に元元
堂書房から出版されました。先生が東京女
子高等師範学校(現お茶の水女子大学)に
在職中の36歳の時でした。高等女学校、女
子師範学校の家事実習の教科書として作っ
たことを凡例で述べています。出版翌年の
一九一一年に文部省検定済になり、その後
一九四二年(昭和17)の出版まで二度修正
改版をして、三十年以上わたって使用さ
れました。この背景には、一八九九年(明
治32)に高等女学校令が公布され、急増す
る高等女学校のために教員養成が急務と
なっていました。高等女学校の教育が「良
妻賢母」を目指していたことから、家事お
よび裁縫が必修科目として設けられ、その
知識・技能を育成することが求められてい
ました。家事の授業には、文部省検定済の
「家事教科書」が用いられました。明治期
には、27種の検定家事教科書が出版されて
いますが、内容はどれも理論が中心になっ
ています。

初版(大正4年までの版) 宮川壽美子著
大正7~昭和17年までの版 大江スミ子著



「家事実習教科書」は家事を知識として
学ぶだけでなく、具体的な実地を通して学
ぶ必要性を説いています。この点が他に類
をみない本書の特徴になっています。
「家事実習教科書」の内容は掃除・洗濯・
家事執務の順序で多くの図解と共に細かな
手法解説が述べられています。

参考資料
大江スミ先生 (光塩会・大濱哲也著)
大江スミ著 女子中等教育用教科書の特徴
(江原絢子著)